

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2018年 12月 25 日

事業所名： 放課後等デイサービスえーるきた

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4			プレイルーム・静養室・SST個室に分室している。	19	1			室内外と活動場所を選択出来ていいと思う。		
	2 職員の適切な配置	4			勤務対指標を掲示している。	18				2 個室で学習・SSTをすすめてくれたり訓練してくれたりありがたい。	えーるの機関誌にて紹介を定期的に行い保護者の方の理解を促していく。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		4		建物の構造上段差をなくす事は出来ないが、手すりや危険箇所のクッション素材での保護を行っている。	12	6	1	1	手すりの設置をする必要がある。	トイレの手すりを設置する。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	/	/	/	洗面所にて各児童のタオルを配置し毎日洗濯している(インフルエンザ等対策)	/	/	/	/			朝夕の掃除と消毒を引き続き行う。また、定期的に設備点検を怠らないようにする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	1	3		PDCA会議を定期的に行っている。	/	/	/	/	/	/	PDCA会議を2～3ヶ月に一度のペースで行い、より各職員の自覚の向上を図る。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	4			毎週2回程度の会議または室内研修でスキルアップを行っている。	/	/	/	/	/	/	引き続き行うとともに対外的な研修も参加していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	4			アセスメント表やモニタリングや支援会議でのことや保護者の方のニーズ等をもとに支援計画を作成している。	19	1			モニタリングの価値がある計画を作成してもらっていると思う。	アセスメントを行い、相談支援事業所保護者の方とのモニタリング内や会議において、課題や保護者ニーズを把握確認し支援計画案・書作成している。又中間評価も定期的に行い支援計画に反映させている。具体的支援内容の記載においては事業所の工夫した点(左欄)に記入	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載				長期目標・短期目標生活面・社会面・身体面に分けて具体的に支援計画を立てて、総合的支援や身体拘束や独自のクラブ活動SST/特化プログラムについても盛り込んでいる。	19	1					
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4			個別活動の個室SSTや特化プログラム、集団活動の遊戯療育(クラブ活動や課題遊び)を取り入れ計画の作成をしている。	/	/	/	/	/	/	引き続き個別活動(個室SSTや特化プログラム)、集団活動での遊戯療育(クラブ活動や課題遊び)を取り入れ計画に記載していくことで子どもの具体的目標を明確にしていく

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（ 続き）	4				常に振り返り評価が出来るよう活動プログラム中に、現状・ねらい(短期のスパン)をもりこんでいる。						引き続き活動プログラムを作成していく。
	5	2	2		個別の課題の整理をチーム全体で行い、活動プログラムの立案に役立っている。						引き続き課題の整理を行って行く。また、チームでのプログラムの見直しを行っていく。
	6	2	2		毎日のクラブ活動・課題遊びを計画し変えている。(目的別)	19	1				固定化されないように引き続きクラブ活動や課題遊びをテーマを考へ計画的に準備していく。
	7	2	2		休日長期休暇におけるスケジュールは半年計画で建て担当者を決め計画的に準備している。(支援含め)						休日や長期休暇に合わせたスケジュール等を視覚化してよりきめ細やかな支援に繋げる。
	8	4			毎日朝礼にて確認を行っている。また、昨日のケース記録等の話も行っている。						引き続き朝礼での確認を行い、パートアルバイトにも具体的に伝わるよう体制作りを整えて行く。
	9	3	1		日誌とは別にケース記録を記入し、振り返りが出来るようにしている。						引き続きパートアルバイトにも情報が伝わるようにしていく。
	10	4			日誌や個別記録に毎日記入し、必要に応じてケース記録やヒヤリハット記録をし事業所全体で確認対策を話あっている。						引き続き正確な記録必要に応じてケース記録やヒヤリハットの記録を確認し、状況に応じた支援の検討を行っていく。
	11	3	1		定期的に中間評価表を作成し、それに基づき話し合い計画を見直している。						引き続き徹底していく。
関係機関との連携	1	4			児童発達管理責任者や児童の担当者がサービス担当者会議や学校での支援会議や状況に応じた懇談会に参画することで共通認識を行っている。						引き続き行っていく。
	2				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	2	2		毎年、特別支援学校と会議を行い、利用児童の支援内容の情報共有や共通理解を図っている。	/	/	/	/		支援内容の共通理解や共有をはかるため必要に応じて会議を増やせるよう検討していく。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供			3	相談支援事業所を通して支援内容を伝える。	/	/	/	/		引き続き相談支援事業所との引継ぎをしていく。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進			3	支援会議にて連携をとっている。また、センター主催の研修に参加させて頂いている。今年度は職員資格取得の受講も行った。	/	/	/	/		引き続きこれまで以上に専門機関との連携や研修の受講を促進していく。また、市の連絡協議会の参加を増やす。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	2		児童館での行事参加や地域でのイベント参加を行っている。	10	14		1	利用が少なくわからない。	休日や長期休暇において引き続き地域との交流の機会を作っていく。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	2	2		ボランティアの招待をしている。	/	/	/	/		引き続き地域イベントの参加やボランティアとの交流を増やしていく。	
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4			契約時に保護者の方と面談し、相談支援事業者間でのサービス計画案等に基づきアセスメントや支援内容を具体的に決め、重要事項説明時には利用者負担等についてもしっかりと事例を出し説明する。	22	3				引き続き書面や口頭での説明をしっかりと行っていく。
		2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4			支援計画案で確認し支援計画書を作成し確認してもらう。	/	/	/	/		引き続き計画案・書を説明して確認を怠らないようにしていく。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		4			保護者お茶会を2ヶ月に一度開き、お茶会でのペアレントトレーニング等の支援を実施している。	/	/	/	/		引き続きお茶会でのペアレントトレーニングの支援を心がけ、える機関誌の中でコーナーを設けていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4			連絡ノートにて状況や遊び等の様子を伝え、必要に応じて電話や口頭にて伝えている。（年に1回懇談会を開いている）	18	1	1		●よく話を聞いて下さりありがたく思っています。 ●モニタリング支援会議に参加されないのが聞きたいことが聞けず困りましたが、話し合う事で理解出きました。知る事が大切だと思います。	保護者の方に合わせた連絡法を考えていく。又、支援会議は日時によって参加出来ない事もあるため日時を相談していく。 毎月の希望表に相談の希望欄を設け相談しやすい環境を作っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4			モニタリングや会議を通しての相談や連絡ノートでの対応やお迎え時などでの助言を行っている。	18	2			先日のモニタリングでしっかりお話させてもらいました。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	4			2ヶ月に一度保護者お茶会を設け講演会やえーるでのおやつやクラブ、趣味的な催しを企画し保護者間の交流を促している。	18	1				引き続き行っていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応				苦情ボックスを玄関に設けている。	17	2				苦情ボックスの周知を行う。 苦情だけでなく、相談もしやすいように相談機会を多く作っていく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4			毎日連絡ノートにて様子を伝えている。又、電話でのやりとりもしている。 えーるだよりの機関誌を毎月発行している。	18				満足ですが、もっともっと親とのコミュニケーションをとり、理解していけたら良いです。	子どもの状況に合わせ視覚支援を増やす等の支援を行っていく。（環境整備）
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	4			毎月のえーるだよりの機関誌やFaseBook等で情報を伝える。また、状況に応じてお知らせ等の文書を作成し保護者に伝えている。	19					引き続き行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4			職員においては入社時個人情報取り扱いに関しての誓約書を、保護者の方とは個人情報に関する同意書及び契約書にて説明し同意印を頂いている。その他、職員については定期的に研修を行っている。	19					引き続きしっかりとした取り扱いを行っていく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4			目につくところに設置している。マニュアルを使い定期的に研修を行っている。	18	1				えーるたより等にて各マニュアルの設置場所や内容について定期的にお知らせしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4			2ヶ月に回イベントの一環としていろんな災害を想定しての避難訓練を行っている。また、職員研修にて話し合いをもっている。シェイクアウトえひめにも参加している。	19					引き続き行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（ 続き）	3				週2回程度の研修において定期的に行い、事業所外の研修にも参加している。	/	/	/	/		事業所外での研修を増やして行く。
	4				放課後等デイサービス支援計画書において記載し、活動プログラムまたは記録に記載している。	/	/	/	/		引き続き徹底していく。
	5	/	/	/	アセスメント時に確認事項に記載している。	/	/	/	/		引き続き確認していく。場合により医師の診断書で詳しく確認対応する。
	6				事例集を作成し、事業所（2カ所）間で合わせて対策を話し合っている。	/	/	/	/		引き続き事例集を作成し徹底していく。